

日本語の再発見

かなは仮借字の意

“仮借”に使はれてゐる文字を“仮借字”と言ふ。ところで、我が国では、文字のことを“な”と言つた。「物の名前」を表したものだからであらう。

“仮借”とは“借りる”ことであるから、“仮借字”は、和語やまとことばで読めば“かりな”といふ読み方になる。これが変化して“かな”となったものである。

だから、私は、「かなの用法は、日本人の発明ではなくて、中国人から教へられたものである」と考へるわけである。

勿論、中国人に教へてもらはなくても、漢字を借りて国語を書き表さうとすれば、自然と“仮借”になる。どんなに劣等民族だって容易に考へつくはづの事である。

ただ、我が国には、中国や韓国からの帰化人が、早くから大勢ゐたのである。だから、彼らから「直接、教へてもらつた」と考へた方が自然だらうと思ふ。